

折に触れ 四字熟語

NO. 167 〔風林火山〕 ふうりん かざん

< 意味 > 戦いにおける四つの心構えを述べた語。風のように素早く動いたり、林のように静かに構えたり、火のように激しい勢いで侵略したり、山のようにどっしりと構えて動かない意。転じて、物事の対処の仕方についてもいう。時機や情勢などに応じた動き方。

< 出典 > 「孫子」^{ぐんそう}軍争

「・・・故兵以詐立、以利動、以分合為変者也。

故其疾如風、其徐如林、侵掠如火、不動如山、・・・」

読み下し：・・・故に兵は詐^さをもって立ち、利をもって動き、分合をもって変をなすものなり。
故にその疾^{はや}きことは風のごとく、その徐^{しず}かなることは林のごとく、侵^{しんりやく}掠^{りやく}することは火のごとく、動かざることは山のごとく・・・

通 釈：・・・戦術の根本は、敵をあざむくことである。行動の決定は、敵をあざむくことによって作り出された有利な状況の中で行われる。しかもその行動は、兵力の分散と集中が巧みに行なえるような変幻自在のものでなければならない。

疾風のように行動するかと思えば、林のように静まりかえる。烈火の勢いで襲撃するかと思えば、泰山のごとく微動だもしない。・・・

表 現：風林火山の幟を立てて

一 言：前号に続いて、goo 辞書の「四字熟語ランキング」から第三位を取り上げました。ご存知の通り甲斐武田軍団の旗印で有名です。武田信玄が好きな人が多いということなのでしょう。

参照文献：徳間書店「論語」 岩波書店「四字熟語辞典」